

教育論文・ICT活用実践研究入賞者発表！

平成22年度のエ育論文・ICT活用実践研究の募集には、36編の応募がありました。厳正な審査の結果、次のように入賞校・入賞者を決定しました。応募されたみなさん、本当にありがとうございました。また、入賞されたみなさん、おめでとうございます。

☆教育論文部門

《校内研究の部》

- 優良賞 鳥栖市立弥生が丘小学校 校長 天野 昌明 代表 教諭 古城 武史
研究主題 活用する力を高める算数科学習指導方法の研究
ー算数を使い、問題を解決できる子どもの育成を目指してー
- 優良賞 嬉野市立轟小学校 校長 中野 春男 代表 教諭 中村 玲子
研究主題 主体的に学ぶ力をもった子どもを育てる学習の創造
ー「市民性」を育む社会科学習指導のあり方を探るー
- 奨励賞 鳥栖市立田代中学校 校長 池之上 義宏 代表 教諭 篠田 桂子
研究主題 キャリア教育を中核に据えた学年づくりの研究
ー総合的な学習の時間の取組を中心としてー

《個人(グループ)研究の部》

- 優秀賞 小城市立砥川小学校 教諭 内田 明
研究主題 歴史学習における思考力の育成
ー「論理カルタ」を活用した指導を通してー
- 優秀賞 鳥栖市立鳥栖小学校 教諭 本村 直美 教諭 古賀 由紀子
研究主題 発達障害のある児童が生き生きと活動する通級指導教室の支援の在り方を探る
ー通常の学級と通級指導教室(LD・ADHD等)の連携を通してー
- 優良賞 佐賀市立若楠小学校 教諭 田中 豊治
研究主題 「生きる力」を育む生活科の創造
ー体験を重視し、言語活動の充実を目指した単元の開発ー
- 優良賞 唐津市立相知小学校 教諭 中野 和幸
研究主題 豊かな発想を培う図画工作科の指導の在り方
ー材料、体験、友だちとのかわりから発想を引き出すことを大切にしたい造形遊びを通してー
- 奨励賞 基山町立基山小学校 栄養教諭 大曲 邦晃
研究主題 学校給食を活用した食に関する指導の実践

☆ICT活用実践研究部門

- 優秀賞 江北町立江北小学校 教諭 與賀田 忠倫
研究主題 教科におけるICTの効果的な活用に関する研究
ー第5学年算数科「面積」の指導を通してー
- 優良賞 白石町立白石小学校 教諭 白濱 正博
研究主題 ICTを活用した「愉しくわかる」授業づくりをめざして
ー「ICT授業設計モデル」の活用を通してー
- 奨励賞 鳥栖市立麓小学校 教諭 高木 千明
研究主題 電子黒板による視覚効果を活用した「単量あたりの大きさ」導入の工夫
- 奨励賞 玄海町立有徳小学校 教諭 西岡 速人
研究主題 ICTを活用した図画工作科学習の題材開発



第12回 平成23年2月17日(木)午前9時～午後4時40分 教育実践交流会案内 「高める力量 広げる実践 とともに創る教育新時代」 ー新学習指導要領に対応したこれからの授業づくりー

今年度は「教えて考えさせる授業を創るー『生きる力』のめざすものー」と題し、岡陽子教育センター所長(前文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官)が基調講演を行います。また、27の分科会やワークショップを準備し、みなさんをお待ちしております。

多くの先生方にご参加いただくために、「交流Ⅳのみ参加」というように一部の参加も可能となっています。申し込み方法等、詳細は、二次案内及び教育センターHPをご覧ください。



昨年度の様子

申込締切：平成23年1月31日(月)

子どもたちの輝く未来のために！

平成23年1月21日発行

教育センターニュース

ミネルバ

118号

佐賀県教育センター <http://www.saga-ed.jp/>
〒840-0214 佐賀県佐賀市大和町大字川上
Tel 0952-62-5211(代) Fax 0952-62-6404

特集記事

- 授業が命(講座授業紹介)
- 授業に役立つ実践研究
- 教科における言語活動とは
- 教育論文等入賞者発表
- 教育実践交流会案内



授業が命 (講座授業紹介)

教育センターでは、研修講座においてセンター所員による研究授業を行っています。今年度は14の教科等で、実際の授業を通して新学習指導要領を踏まえた指導の在り方について具体的な提案を行いました。今年度行われた研究授業の様子と受講者の感想を紹介します。

小学校音楽科講座

新学習指導要領を踏まえたこれからの授業づくり



「自分の思いを出し合い、歌詞や強弱などに着目して、友達と歌い試しながら表現の工夫をしていたのがよかったです。」

中学校道徳講座

新学習指導要領を踏まえた道徳教育の在り方



「配付資料に切り返しの発問など詳しく載っていて、これからの授業の参考になりました。実践してみたいと思います。」

小学校国語科Ⅱ講座

言語活動を通して知識・技能の習得と活用を図る



「意欲的に言語活動に取り組みさせるためには、子どもに目的意識をもたせることが大切だと実感できる授業でした。」

中・高国語科講座

言語活動の充実・具体化を図る授業づくり



「相互評価のシートが特に参考になりました。センターHPに載せてある他のワークシートも使ってみたいと思いました。」

小学校算数科Ⅱ講座

数学的に考え、表現する能力を育てる授業づくり



「つぶやきを聞きのがさず取り上げられ、伝えるのが苦手そうな子も、自分から言いたいという雰囲気の授業でした。」

高校数学科Ⅱ講座

数学を学ぶ楽しさを伝える授業づくり



「課題学習にどう取り組ませたらよいか分かりました。電子黒板を活用した授業を初めて参観し、感動しました。」

必見!

講座授業の指導案やワークシートは教育センターHPからダウンロードできます。

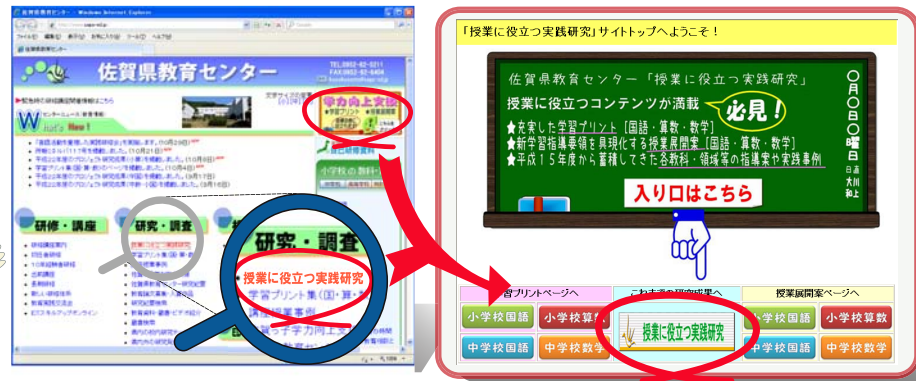
講座授業事例集

検索

授業に役立つ実践研究

教育センターでは、佐賀県教育課題の解決と先生方の授業実践をサポートするために「プロジェクト研究」と「個別実践研究」という2つの研究に取り組んでいます。前回の117号では、小学校国語科・中学校国語科・小学校算数科・中学校数学科の研究について紹介しました。今回はそれ以外の研究の概要について紹介します。これらの研究成果については3月中旬に教育センターHPに公開する予定です。なお、平成21年度までの研究成果については、教育センターHPに公開していますので、ぜひご活用ください。

研究成果については、教育センタートップページからお入りください。



プロジェクト研究

小・中学校理科 「言語活動の充実と実感を伴った理解を図る指導の工夫」

新学習指導要領に基づいて、小・中学校の領域の系統性を踏まえた授業づくりの提案をします。今年度は、小学校では「A 物質・エネルギー」、中学校では第1分野を中心に研究に取り組んでいます。発達の段階に応じた実践例や知識・技能を活用したものづくりの教材、ワークシート等を紹介するとともに、児童生徒が知識や体験、思考を言語化する場面を明らかにした授業の展開案を提案します。



小・中・高等学校教育相談 「よりよい人間関係を築く力を育成する支援の在り方」

よりよい人間関係を築く力を育成するために、児童生徒にソーシャルスキル(対人関係を円滑にするための知識と技術)を身に付けさせることを目指した研究に取り組んでいます。県内児童生徒のソーシャルスキルに関するアンケートを実施し、その結果を踏まえて、小・中・高等学校別のソーシャルスキル・トレーニングの活動プログラムを作成します。今年度は、アンケートの結果とその分析について紹介し、活動プログラムの考え方を提案します。

小・中学校特別活動 「学級活動内容(2)における話し合い活動を取り入れた指導の工夫」

学級活動内容(2)「日常生活や学習への適応及び健康安全(小学校)」・「適応と成長及び健康安全(中学校)」における、児童生徒による話し合い活動を取り入れた学級活動の指導の在り方についての研究に取り組んでいます。小学校第6学年から中学校第1学年までの発達の段階を考慮した年間計画や、教師の指導の在り方を示した展開マニュアル等を作成しています。また、一人一人のよさや伸びが認め合えるように振り返りシートも作成しています。小・中学校の学級活動内容(2)の学習を効果的に進めるために、話し合い活動をどのように取り入れていけばよいかを提案します。

個別実践研究

小学校音楽科 「音楽を特徴付けている要素や仕組みを手掛かりとした学習活動の工夫」

歌唱指導において、音楽を特徴付けている要素や仕組みを手掛かりとして、音楽を聴き取り、感じ取りながら、思いや意図をもって音楽表現をする児童の育成を図る研究に取り組んでいます。教材との出会わせ方や教具の工夫を通して、児童が友達とかかわり合いながら主体的に活動し、表現を交流するような授業の在り方を提案します。さらに、前述の授業にかかわる学習指導案、ワークシート、教材、掲示用カード、授業の様子等を紹介します。



小・中学校特別支援教育 「発達障害のある児童生徒の特性に応じた支援の在り方」

読み書き等につまずきのある児童生徒に対して、その特性を把握し、それを基にプログラムした個々の「見る力」を高めるトレーニングを通して、改善を図る支援の在り方についての研究に取り組んでいます。「見る力」と読み書き等との関連をまとめ、「見る力」を把握するためのチェックシートを作成し、「見る力」を高めるトレーニングのメニューと方法を提案します。また、トレーニングによって改善が図られた児童生徒の事例と、短時間で簡単に実施できる「見る力」を高めるトレーニングを紹介します。

小学校生活科 「気付きの自覚化を促し、気付きの質を高める生活科学習指導の在り方」

新学習指導要領で求められている「気付きの質を高める指導」について、子どもたちの気付きの自覚化を促し、気付きの質を高めるために、表現する活動と伝え合う活動を効果的に位置付けた学習指導の在り方についての研究に取り組んでいます。生活科における「確かな学び」につながる提案として、授業モデルや実践例等を紹介します。

教科における言語活動とは どのようなものかについて116号から掲載してきました。最終回の今回は小学校の社会科や家庭科、中学校の社会科や技術・家庭科における言語活動について考えてみましょう。

小学校 社会科

小学校社会科における言語活動としては、資料を活用し、社会的事象の意味を解釈したり、事象の特色や事象間の関連を説明したりするなどの活動が考えられます。

- ① 観察・調査したり、各種の資料から読み取ったりして考えたことを自分の言葉で記述させる学習活動
- ② 事象を比較・関連付け、社会の仕組みや人々の願い、意図を、関係図等を用いて見出す学習活動
- ③ 考えたことを自分の言葉でまとめ、伝え合い、お互いの考えを深めていく学習活動

事象の背景に目を向けさせたり、社会的な問題についてのこれからの在り方を考えさせたりするなど、まずは、表現することへの意欲を高めることが大切です。

小学校 家庭科

小学校家庭科における言語活動では、衣食住などの生活の中の様々な言葉を実感を伴って理解したり、生活における課題を解決するために、言葉や図表などを用いて考えたり、説明したりする次のような学習活動例が考えられます。

- ① 「団らん」「ゆでる」「手入れ」などの生活に関連の深い言葉を、実感を伴って理解する学習活動
 - ② 家族へのインタビュー等で家庭生活における課題をつかみ、課題を追究して、分かったことを図表や言葉にまとめて発表し、活用方法を考える学習活動
- このような活動によって、言葉を豊かにし、知識及び技能を活用して生活の課題を解決する能力を高めることが大切です。

中学校 社会科

中学校社会科における言語活動では、社会的事象の意味・意義を解釈する活動や、事象間の特色や関連を説明する活動が考えられます。

- ① 地理的分野では、様々な地域の調査において、事象を説明したり、解釈したりする学習活動
 - ② 歴史的分野では、事象について考察・判断し、自分の言葉で表現する学習活動
 - ③ 公民的分野では、事象について得た結論を具体的・論理的に説明・論述する学習活動
- 言語活動を通して、社会的事象についての理解や認識を一層深めることができるようにすることが大切です。

中学校 技術・家庭科

技術分野における言語活動では、ものづくりなどに関する実習等の結果を整理し考察したり、生活の課題を解決するために言葉や図表、概念などを用いて説明したりする次のような学習活動例が考えられます。

- ① 目的や条件に即した機能と構造について、「設計図」などを利用して考える学習活動
 - ② 生物の育成計画をたててグループで活動し、育成結果についてまとめ、発表する学習活動
- このような活動によって、論理的思考や生活の課題を解決する能力をはぐくむ視点をもつことが大切です。

家庭分野における言語活動では、衣食住などに関する実習等の結果を整理し考察したり、生活の課題を解決するために、言葉や図表、概念などを用いて考えたり、説明したりする次のような学習活動例が考えられます。

- ① 実習の中での体験を振り返ったり、自分の考えを客観的に見つめなおしたりする学習活動
 - ② 衣食住や健康、安全などに関する知識や概念を活用して身近な生活の課題を解決する方法を考え、それを実践する学習活動
- このような活動によって、論理的思考や生活の課題を解決する能力をはぐくむ視点をもつことが大切です。

「カリキュラム支援コーナー」を設置しました！

教育センターでは、教職員の指導力向上及び自己研修に活用していただくために、図書資料室内に「カリキュラム支援コーナー」を設置しました。次のようなものを取りそろえています。

- ① スーパーティーチャーやセンター所員、県内研究発表校などが作成した学習指導案、ワークシート、学習プリント
- ② スーパーティーチャーやセンター所員の授業の様子を記録したDVD
- ③ 教育センターで取り組んでいる「授業に役立つ実践研究」で作成した成果物や学習プリント

学習指導案やワークシートなどはコピーして持ち帰ることができます。また、授業のDVDはここで視聴していただけます。研修等で来所される際には、ぜひ図書資料室の方にもお立ち寄りください。

いまずぐ活用してみよう！

